時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報

時事新報

第三千百二號

明治廿四年八月八日　土曜日

舊暦辛卯七月四日（丙寅）

日出午前四時五十五分　日入午後六時三十八分

月出午前七時四十九分　月入午後八時四十五分

滿潮午前七時三十八分　午後七時五十四分

（西暦一千八百九十一年）

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜日休刊

○時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐること尠からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生したる場合も尠からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

宮内省の改革

近日宮内省に於ては改革を行はる可しと云ふ其趣旨なりとて世間に傳ふる所を聞くに同省は他の官省と其性質を異にして政治外に屹立し云はゞ帝室の御家政向を管理するものにて隨て其組織も他省と違ひ高位有爵の有給職幷に名譽職等も少なからざるが故に容易に改正を行ふこと能はざれども今回の趣旨は各省官制の如く職權を擴張し又は職給の制に改むるなどいふ理由に非ずして唯省費は勿論、官吏の俸給も減じ得るだけは減じて其減じたる剩餘金は專ら慈仁等の用途に充らるゝ可しとの深き思召より出でたるものなりと云ふ誠に有り難き思召にして我輩の一辭なき所なり世間或は帝室費の事に就き杞憂を爲すもの少なからずして帝室には永世の御財產を備へらる可しなど説くものなきに非ざれども我輩の所見は之に異なり普天の下、王土に非ざるなく率土の濱、王臣に非ざるなしとは我日本の臣民が帝室に對し奉るの情にして苟も帝室の御爲めとあれば生命あり財產あり之を致すことを厭ふものある可らず左れば帝室に於ては別に永久の御財產を備へさせらるゝの必要なく若しも御用の節は臨時に仰出さるゝも可なる程の次第なれば平常は成る可く御節儉を旨とせられて其御美德を天下に示さるゝこそ願はしけれ今回の改革も傳聞に由れば畢竟その邊の御趣意に外ならずして殊に其剩餘の金額は專ら慈仁等の費途に充らるゝ御思召なりと云ふ此點に於ては只管感佩の外なけれども此際我輩の私見を以て竊に希望の在る所を陳ずれば宮内省の性質を更に一層明白ならしめて斷然政治外に獨立の實を示すこと是れなり蓋し今日の實際に於ても宮内省は自から政治外に在ることなれども世間一般の見る所は必ずしも然らざるが如し先年今の伊藤伯が宮内大臣にして總理大臣を兼任したるが如きは自から例外にして今日の實際を證するに足る可らずと雖も單に其外形に就て云ふに政務を取扱ふ政廳を内務省大藏省など稱すれば宮内省も同じく省にして其各省に大臣次官等の名稱あれば宮内省にも亦同じく大臣次官の名あり其他省内の組織と云ひ官吏の階級任命と云ひ他の各省と大同小異にして一般の見る所にては之を政務の官廳と區別すること頗る容易ならず假令へ是等は外形の觀察のみなりとするも彼の内閣の更迭談などに際して世の風説を聞けば今回の更迭に宮内大臣は某大臣に轉じ某大臣は之に代りて宮内大臣たる可し又宮内大臣は其更迭に關して大に周旋する所ありしなど相傳へて更に其間に區別なきが如くなるは畢竟世人の誤解に外ならざる可けれども其誤解を來す所以は即ち其實相の明白ならざるが爲めなれば我輩は今回の改正に就き大に宮内省獨立の實を明にするは勿論、宮内省、宮内大臣次官などの名稱は今の政務の各省の名と紛らはしくして自から誤解の種ともなることなれば同時に是等の名稱をも廢して一般の耳にも全く帝室附屬のものと聞ゆるやう相當の名に改め以て名實共に政治外に獨立せんことを希望するものなり聞く所に據れば先年英國にて今の女皇陛下の即位五十年祭の時其盛典に臨む爲め各國帝王皇族の來會したる者少なからず我國よりも某親王殿下が歐洲行の途次、帝室の御名代として臨ませられたり各國々際の禮として帝王皇族の旅館には其國帝室の親兵を護衛として附するの例なれば英國にても各帝王皇族の旅館には何れも護衛を差出したるに如何なる次第にや我親王殿下の旅館には一兵の來り護るものなし御附の人々を始め我公使に於ても怪しからぬ事に思ひ公使は親から彼の外務省に至りて其事を詰りたるに外務の當局者も夫は甚だ以て相濟まずとて早速女皇陛下の式部侍官に掛合ひたる由なれども宮中の事は外交官などの干渉す可きことに非ずとて是にも非にも一切之れを受附ず彼我の外交官も共に當惑の折柄、斯くては國の體面にも關することなればとて親王の家令某は直に宮中に至り侍從官に面して其事を掛合ひたるに此度は直に承諾し右は全く掛官の手落なりしとて其日より早速護衛の兵を附することゝなりたるが右は英の宮中にて未だ我國の皇族に對する先例のあらざるより斯る一時の行違ひを見たるものなりと云ふ我輩は彼の宮中の例を以て我帝室の事を云々するに非ざれども宮中が政治外に獨立して容易に政務當局者の差圖を受けざるが如きは正に此一例の如くなる可きを希望して聊か玆に附記するのみ

雜報

○果して勅語の精神か　西洋究理の學問は鎖國の迷夢を破りて我文明の開進を促がし遂に今日の新日本を造り出したれども究理の學、機巧の術開くると共に幕府時代の所謂道德も自然其形を改め來る中には隨分極端に奔りて唯私利私慾に是從ふの徒なきにあらざれば維新以前の眼を以て斯る事相を見聞せば道德地を拂ふと云ふも無理ならず從て彼の教育の勅語は敎官其人の能く其精神を奉體し躬行實踐以て自から模範を示さば學生の德性を涵養する功驗素より著しかるべしと雖ども苟も其勅語の精神を敷衍して自家の所論に附會するが如きことあらんには其弊や實に恐るべきものあらん然るに近來此の勅語の解釋をなすもの種々樣々にして地方に依りては老朽の漢學者和學者などが此處ぞ先年の復仇として洋學者を攻擊すべき好時機となし巧に附會して勅語の講演をなす其説は殆んど昔日の鎖國攘夷論を潤飾したるものと云ふも不可なしといふ尤もみは其學者輩の僻眼の然らしむる所として恕すべきも恕し難きは文部直轄の高等師範學校を卒業し地方の尋常師範學校に敎師の職を奉じ而かも倫理科受持のものにして勅語の講義をなす中に四海兄弟とは今の時に不用の語なり我日本は日本なり抔との唯我獨尊主義を頻に吹き込み又學術會と稱して生徒と私に講室内に相會する時仕込杖を携へて講壇に上り此の刀以て萬國に雄視すべし抔と徒に慷慨の言論行爲を示すより是等の敎師の解釋彼が如く言論擧動斯くの如くにして知事の注意なく文部省亦漫然として知らざるものゝ如し德育の前途實に憂慮に堪へざるものあり云々と或地方敎育家の物語

○不用郵便切手百三十餘萬圓　明治の初年始めて日本に郵便制度を實施したる以來二十餘年の久しきその間には郵便切手または葉書の變更したる事も屢々なるが隨てその賣殘りの分も莫大なるものにて年々堆積したるものを額面通りに積算するときは大枚百三十餘萬圓の上に達せり而して其種類は五十錢切手を頭として次第に額面の高を減じ二厘五毛の帶紙に至る迄とし中には五百文、二百文、百文、半錢、四十八文の切手または六錢の葉書四錢の角封皮六錢の長封皮一錢幷に二厘五毛の帶紙等もありて隨分珍しく各種の總數は實に一千二百五十餘萬枚の多きに上れり固より是等の切手は最早不用に屬して保存するの要なきものなれども古切手を珍重する外國人抔が往々賣拂を請ふ者あるにぞ遞信省に於ても殊更に燒き捨てるの必要なくして保存するに過ぎずもし此古切手を悉皆額面通りに賣却することを得るものとすれば百三十餘萬圓にも爲るゆゑ一廉の用に立てども廢れたるものとて人の顧みるものなし郵便切手の末路も亦墓なけれ

○金剛峰寺の一切經　高野山金剛峰寺に所藏せる紺紙金泥の一切經八千卷は世に聞えたる有名の什物にて藤原陸奥守秀衡の寄附する所に係り其卷軸の如きは孰れも純銀を捲き付けありて其一卷の目方三匁あれば此銀のみにても二十四貫目はあるべしと云ふ左れば外國人等にても疾くより頻りに注目して五十萬圓に讓り受けんと申込みたる者さへありし程にて同寺にても會計上の都合より一時は之れを典物として二萬圓を借入れんとの評議ありしかど斯く貴重の什物を他に持出すは火災等の恐れありとて終に其場合に至らざりし由なるが近來一二の外國人は又々頻りに手を廻して之を買入れんとするが如き模樣あるより其筋にても萬一斯る貴重の什物を外國人の手に落ちしむる樣の事ありては今日の如く專ら全國寶物の保存に力を用ふる時に當り如何にも遺憾の次第なればとて同寺へも注意を加へ且つ地方廳にても萬一を慮りて間接に監督し居れりと云ふ

○空中談の二幅對　巴里發の近報
空中を飛揚することを發明したり
ふ所に據るに本人は始め此工風を
に亞弗利加に赴むきて鵰の飛揚す
何故に具直に揚ることは能はざるか
へ入れずして飛揚する能はざるか
せし所あり而して發明したる飛揚
のにて蒸汽を以て之を働かしめ螺
既に今日までに此發明の爲め費し
ランク（凡十八萬圓）に達し此程佛
め適當の高樓借用の義を願ひ出た
議のスパーに於て死去せし老婦人
三萬圓）の財產を今より十年間に
便を發明せし天文家あらば佛人に
其人へ褒賞として此遺產を贈るべ
たり然るに佛人フランマリオ氏は
就するの望みを有すると云ふ氏の
球を距ること四千二百萬哩の遠方
方の間に合圖を爲すことを得るの
りとぞ

○大坂名護町取拂の結果　大坂市
り五丁目迄貧民の家屋取拂の事は
しが所轄南警察署の盡力に依り格
は全く一萬人餘の貧民を掃蕩し盡
從來の名護町とは別世界の觀を呈
戸一月の家賃は大體一圓五十錢よ
二圓位にも相當すれば元の貧民等
り住居するの資力なければ自ら他
し左れば東成天王寺村の如きは是
場所等へ續々小家屋を新築し已に
し其他木津村難波村今宮村等に數
て舊名護町同樣貧民を住居せしむ
各村落は更に新名護町を現出せし
く別問題なるも大坂鐵道線路が大
せし以來是迄此の沿道にて牛馬同
事業を失ひ糊口に窮せしより數千
轉し先づ木津難波天王寺村等に住
に從事する者多く旁々此邊は貧民の
らんとするの傾きあるよしなり

○奥羽六縣聯合學事會　は去る三
開きしが討議題都合二十、談話題
和青森縣知事にして出席會員は岩
同縣尋常師範學校長淸川寬秋田縣
保同縣屬佐藤信北海道尋常師範學
木源二郎福島縣尋常師範學校長中
治山形縣屬關原彌里宮城縣屬淺井
井信敬同縣尋常師範學校長伊藤貞
には中川文部省視學官も臨席した

○鹽業紀念碑建設の計畫　岡山縣下
村に於ては近年鹽業盛んに行はれ
得たる處より今度有志者協議の上
を建設し其地を以て私立公園と爲
園及ひ建設の方法等を廣く外國幷
に倣ひ建築せんと同委員は出京して
其他に就て質問爲し居れりと

○七月中東京株式取引商況　去る
諸公債證書現場賣買の種類は五種
れば整理公債は高直九十九圓九十